

令和元年度 保健体育科 女子 授業充実（改善推進）プラン

昨年度のプランの検証

昨年度は、思考・判断の向上に重点をおき、「わかる、イメージできる、表現する」ことを実感できる授業展開を柱とし、その土台の上に体力向上への取り組みが展開されていく改善プランである。基本となる授業規律は、意識が高まり徹底されてきた。継続して意図的、計画的な指導計画を立案し、理解してできる運動の楽しさを味わい、生涯にわたって運動に親しみ、体力の維持向上が図れるよう取り組んでいく必要がある。

課題（各観点について）

| 観 点 | 分 析 |
|------------------------|---|
| 運動や健康・安全への 関心・意欲・態度 | 自分が得意とする運動に対する意欲・関心は高い生徒もいるが、運動することが苦手意識を持つ生徒も多く、参加できない生徒もいる。体力向上について理解し実践することが困難な生徒が一部にみられる。積極的に活動しすぎて周囲の状況を把握できない生徒がいる。 |
| 運動や健康・安全についての 思考・判断 | 全体的にすすんで課題解決をはかる活動や、運動の行い方のポイントを意識した練習ができる生徒が徐々に増えているが、話し合い活動などのグループ学習の効果が上がらない。種目によってはカードを活用し、課題を明確にすることをねらいとしているが取り組みが消極的である。 |
| 運動の技能 | 体力面では、全体的に全身持久力が低い。持久力を高めるトレーニングに対して辛いイメージが強いようで積極的に取り組む生徒が少ない。投運動の特性を理解し、イメージできない。 |
| 運動や健康・安全についての 知識・理解 | ゲームの中では、積極的に活動するが種目の特性を十分に理解していない。個人技能の習得に関してはポイントをおさえて練習することが不十分である。 |

授業改善のポイント（調査結果等を踏まえて）

- ① 授業のめあてや流れを理解させ、充実した授業内容の改善を図る。苦手な種目や辛いトレーニングなどの必要性を理解させ意欲的に授業に参加する態度の育成に努める。
- ② 生徒自身が自分の課題に気付くような助言を行い、仲間やグループでの活動を取り入れていく。
- ③ 主運動につながる練習を反復して行う。導入練習を継続して行うことで運動のポイントを体感し定着を図る。
- ④ 種目の特性やルール、技能のポイントを明確に伝え、知識として理解したうえで授業に臨む。

授業改善策

- ① 授業開始時には、本時の課題とめあてを伝え、事例をあげ、目的をもって授業に取り組む姿勢を育てる。
 - ② 聞く態度を育て、簡潔な説明で本時の目指すところとそのための練習方法とポイントを示す。補助として副教材、学習カード、ホワイトボード、評価表を使用し自発的なイメージから実践へと移せるよう助言する。
 - ③ グループでの活動を取り入れ協力して学び合う学習形態を展開する。
- 【1学年】…体力に不安定なところがある。グループ活動を組み込みながら協力して高め合う活動を促し、互いに教え合う態度を育成する。また、活動量を増やし体力や技能を高めていけるようにする。
- 【2学年】…単元によって関心・意欲の差が生じる傾向がある。練習方法や場の工夫をし、関心を高めるとともに、目標値を設定し、授業を展開することで学習に対する関心、意欲を高められるようにする。
- 【3学年】…関心、意欲は高いが、技能、体力には二極化が見られる。発問やグループ活動等を通して思考的な活動を促しながら、活動量を増やし体力や技能を高めていけるようにする。